



鳥北小だより

学校教育目標「一人ひとりがいきいきと輝く学校」

臨時号
令和6年9月1日



摂津市立鳥飼北小学校

〒566-0052
摂津市鳥飼本町丁目10番1号



保護者・地域の皆様におかれましては、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けて、各教科の指導計画や日常の授業改善に引き続き取り組みます。

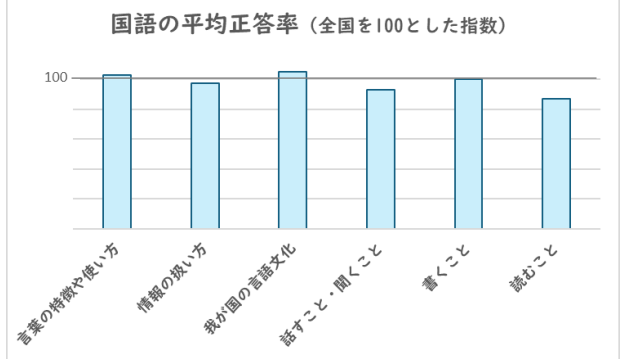
令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

	国 語		算 数	
	正答数	正答率	正答数	正答率
北小6年	9.2/14 問中	66%	9.1/16 問中	57%
大阪府	9.2/14 問中	66%	10.0/16 問中	63%
全国	9.5/14 問中	67.7%	10.1/16 問中	63.4%
対全国比	0.97		0.90	

国語 全国の平均正答率と比較して「やや低い」結果でした。

【知識及び技能】

「言葉の特徴や使い方」・「我が国の言語文化」等、基礎的な知識が求められる問題では、全国平均正答率を上回りました。知識及び技能を話すこと・聞くことの領域では、全国平均正答率を上回りました。日常の授業の、基礎・基本的な学習内容を着実に定着させるための学習支援が成果につながりました。



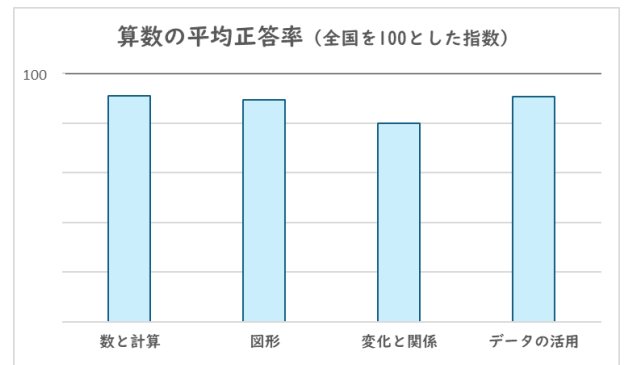
【思考力、判断力、表現力等】

「書くこと」の領域では、全国平均正答率をやや上回りましたが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域では、全国平均正答率を下回りました。目的や意図に応じて、話題を決め、伝える内容を検討することや登場人物の相互関係や心情について、描写をもとに捉えることに苦手意識をもっている児童が多いことが予想されます。

算数 全国の平均正答率と比較して「低い」結果でした。

【変化と関係】

「図形」の領域は、速さの意味について理解すること、言葉や数、式などを用いて記述することに課題が見られました。授業の中で、速さなど単位量当たりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、場面や目的に応じて比べ方を考察し、日常生活に生かすことができるように指導するとともに、自分の考えを式や言葉を使って論理的に書く機会を増やしていく必要があります。

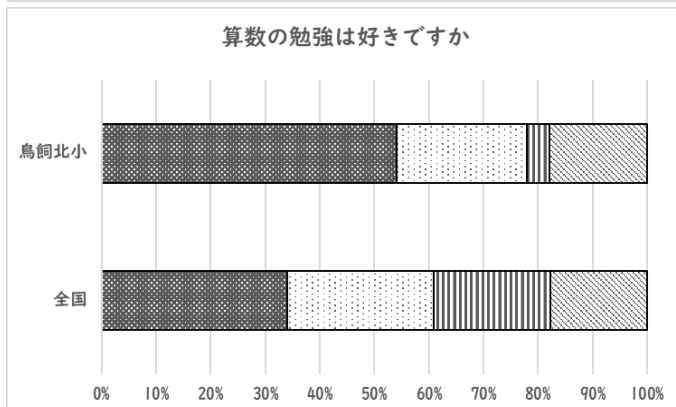
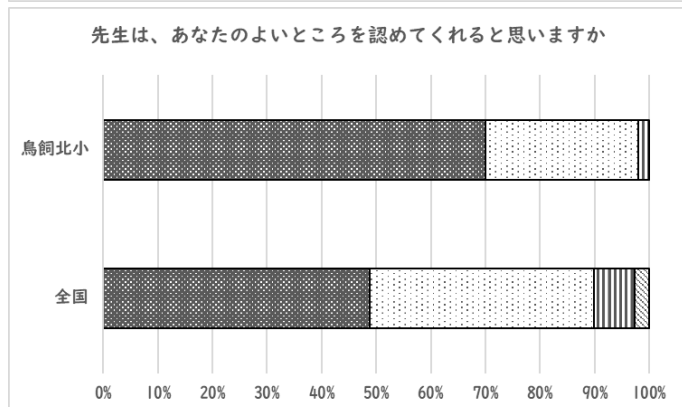
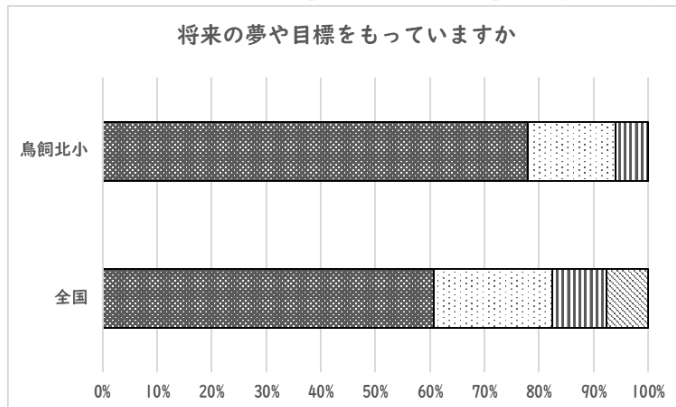
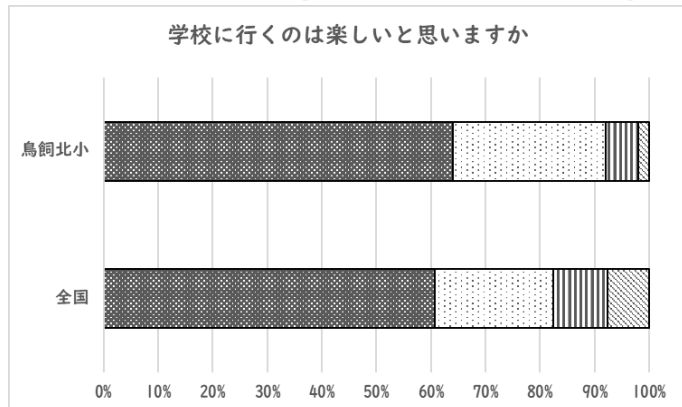


両教科共通して

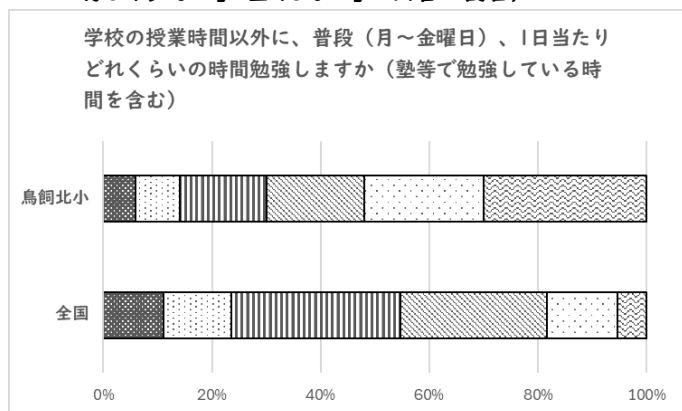
無解答率が全体を通して、全国平均と比較して低い状況です。記述式問題でも書く意欲が高く、最後まであきらめずに問題に向かおうとしている姿勢が見られます。

質問紙調査より

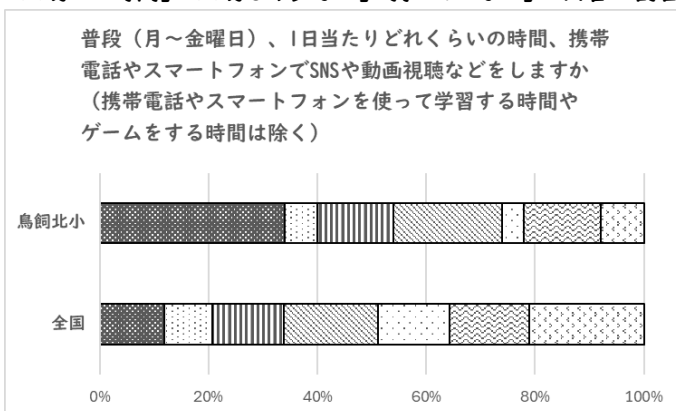
(グラフは左から「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の回答の割合)



(グラフは左から「3時間以上」「2～3時間」「1～2時間」「30分より少ない」「全くしない」の回答の割合)



(グラフは左から「4時間以上」「3～4時間」「2～3時間」「1～2時間」「30分～1時間」「30分より少ない」「持っていない」の回答の割合)



児童質問紙調査から、将来の夢や希望をもち、意欲的に学校生活を送っている児童が多いということがわかります。一方で、家庭学習習慣やスマートフォン等の適切な利用については課題も見られます。

鳥飼北小学校の学力向上の取組み

① 日常の授業の充実・改善

- ・すべての教育活動を通して「自分をやる気にする力」「ねばり強くやり抜く力」「他者を思いやりつなげる力」「自分の考えや思いを伝える力」を育む指導方法の工夫
- ・各教科等で、「説明する力」「まとめる力」など、書くこと・言語活動を重視した指導の充実
- ・よりよい自分の生き方や、よりよい社会のあり方を考えて、自分の考えを発表し合う「道徳」の時間の充実
- ・研究授業、相互授業参観等を通しての、授業改善の推進

② 家庭学習、読書の習慣化に向けて（ご家庭でもご協力をお願いします。）

- ・「漢字まつり」や「天下一自学大会」等、テストに向けての意欲を高め、自学自習習慣の定着を図る
- ・「宿題タイム」等を活用し、授業やテストで理解できていない部分を復習し、学習内容の定着を図る
- ・家庭とも連携し、スマートフォンやコンピューターの使い方について、適切な使用や使用時間を守るなど、児童の自己管理能力の育成を図る